

Q. 乳がんの遺伝子検査について、野村先生のご意見をお伺いしたいです。

A. 遺伝性乳癌卵巣癌症候群（HBOC）についてお答えします。 アンジェリーナ・ジョリーという俳優さんが乳癌、卵巣癌にかかる前に予防的に乳房・卵巣を切除したことからこの疾患が有名になりました。 BRCA1あるいはBRCA2という遺伝子を持つと高い確率で乳癌にかかります。 この遺伝子を持っているかの検査は採血で分かり、乳癌の診断のついた患者さんは保険が使える2～3万円となりますが、乳癌の診断がついていない方は保険が使えません。

親、兄弟姉妹、親戚に乳癌、卵巣癌、膵臓癌、前立腺癌の方が多い場合はこの遺伝子を持っている可能性がありますので、そのような方は遺伝子を調べてみるというのも一つの選択肢です。

この遺伝子を持つと分かった場合は高い確率で乳癌になるので、乳房温存手術（乳腺が残る手術）はお勧めできません。 また乳癌になる前に遺伝子を持つと分かった場合は予防的乳房切除も保険が使えます。 この遺伝子を持つ患者さんのみに使用可能な薬も既に発売されております。 このようにこの遺伝子を持つ患者さんが不利益を被ることが少なくなるように多くの制度や診療体制が整ってきました。

しかしながら遺伝子を調べるということは同時に家族親戚関係に大きな影響を与えます。 この遺伝子は50%の確率で親から子へ遺伝し、男女関係ありません。 知ることが逆に不安を助長する可能性もあります。

ただ一番大事なことは、今乳癌で苦しんでいる患者さんに最善の治療を提供することです。 担当の先生としっかり相談し、遺伝子を調べることのメリットとデメリットをよく考えて検査を受けるかを判断してください。

Q. がん治療後のリンパ浮腫の治療はありますか？

A. 乳癌手術で脇のリンパ節を切除した場合、術後にリンパ浮腫を起こす可能性があります。 これは手術によりリンパ節が切除され腕のリンパの流れが悪くなるために生じます。 治療の第一はリンパマッサージです。 ただしマッサージの仕方にコツがありますので、専門の教育を受けた医療者をお願いしてください。 いわゆる美容的なマッサージとは異なりますので注意が必要です。

他の方法として手術もあります。 リンパ管と静脈を吻合してリンパ液を静脈に流してしまう方法です。 形成外科にて行う手術ですが、難しい手術で必ず良くなるとは限りません。

大事なことはリンパ浮腫を起こさないような生活かと思えます。 運動はリンパの流れを良くするのでお勧めです。 小さなけが（採血等）はあまり気にしなくても良いですが、骨折等の大けがでリンパ浮腫が発症悪化することがありますので注意が必要です。

Q. 去年、知人が乳癌の手術を受けました。その時、担当の先生から「同じ乳腺だから両方手術する？」って言われたと聞いていました。そんなことってあるのでしょうか？

A. すごいことを言われてびっくりしたのかと思います。通常乳癌がない側の手術は行いません。その必要はないですし保険も使えません。担当の先生がどのような意図で話したかは分かりませんが、通常そのようなことはないというのが答えとなります。

ただし、例外があります。これは遺伝性乳癌卵巣癌症候群（HBOC）の場合です。この場合は高い確率で乳癌が発症しますので、乳癌の無い側の乳房切除もお勧めとなります。また乳癌発症する前でしたら予防的に両側乳房切除を受けることをお勧めします。いずれの場合も保険が使えますが、女性にとって相当に大きな決断となります。もちろん乳房切除と同時に乳房再建を受けることも可能です。

担当の先生のお話にはそのような意図があったのではないのでしょうか。

Q. 手術後、腕があがらない、痛みが続くという方がおられます。いつまで続きますか？
また、対処法をお聞かせください。

A. 乳癌の手術は肩の関節まで及びませんので、術後に肩が上がらなくなることはない、と考えそうですが、そのような方は結構いらっしゃいます。術後に傷が治る段階で皮膚や皮下組織にひきつれが生じて、それが腕の内側を引っ張ることから肩が上がらなくなると考えられます。肩が上がらない状態が続くと肩の関節が固定され、より一層肩が上がらなくなります。これはリハビリにて徐々にひきつれ部分を伸ばして肩を上げていくしかありません。

術後に肩関節周囲炎（いわゆる五十肩）が生じるとより一層肩の運動が制限されます。整形外科の先生やリハビリの先生とよく相談してください。

乳癌手術後にいつまでも傷が痛いという患者さんが時々います。乳房全摘の場合比較的大きな傷（10～15cm）となりますので、季節の変わり目に傷がうずくということはありませんが、季節に関係なく常に痛みを苦しむ患者さんもいます。実は原因が分かっていません。原因が分かりませんので、対処法も確立していません。通常の痛み止めや時に麻酔によるブロック注射等を行います。